

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年12月24日(2010.12.24)

【公開番号】特開2009-129281(P2009-129281A)

【公開日】平成21年6月11日(2009.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2009-023

【出願番号】特願2007-305003(P2007-305003)

【国際特許分類】

G 08 G 1/16 (2006.01)

B 60 R 21/00 (2006.01)

【F I】

G 08 G 1/16 C

B 60 R 21/00 6 2 1 C

B 60 R 21/00 6 2 4 C

B 60 R 21/00 6 2 8 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月8日(2010.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

有料道路のサービスエリア又はパーキングエリアから本線又は登坂車線に合流する車両の逆走を防止する逆走防止装置であって、

車両が、有料道路のサービスエリア又はパーキングエリアに進入したことを検出する進入検出手段と、

該進入検出手段により、前記車両の前記サービスエリア又は前記パーキングエリアへの進入が検出されたときに、前記車両が逆走しているか否かを判定する逆走判定手段と、

該逆走判定手段により、前記車両が逆走していると判定されたときには、警報を発する警報手段と、を有することを特徴とする逆走防止装置。

【請求項2】

前記進入検出手段により、前記車両の前記サービスエリア又は前記パーキングエリアへの進入が検出されたときに、走行中の路面の路面標示を撮像する撮像手段を更に有し、

前記逆走判定手段は、該撮像手段により撮像された前記路面標示の映像から逆走パターンを認識することにより、前記車両が逆走しているか否かを判定することを特徴とする請求項1に記載の逆走防止装置。

【請求項3】

前記逆走判定手段は、前記路面標示の前記映像から順走パターンを認識して前記車両が順走していることを確認し、

前記撮像手段は、前記車両が順走していると確認されたときに撮像を終了することを特徴とする請求項2に記載の逆走防止装置。

【請求項4】

前記逆走パターンは、区画線の形状と線幅を特徴点とする画像認識パターンであることを特徴とする請求項2又は3に記載の逆走防止装置。

【請求項5】

前記進入検出手段は、ナビゲーション手段を有し、

該ナビゲーション手段が、自車位置が前記サービスエリア内又は前記パーキングエリア内にあるか否かを検出することにより、前記サービスエリア又は前記パーキングエリアへの進入を検出することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか一項に記載の逆走防止装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するため、第1の発明に係る逆走防止装置は、有料道路のサービスエリア又はパーキングエリアから本線又は登坂車線に合流する車両の逆走を防止する逆走防止装置であって、

車両が、有料道路のサービスエリア又はパーキングエリアに進入したことを検出する進入検出手段と、

該進入検出手段により、前記車両の前記サービスエリア又は前記パーキングエリアへの進入が検出されたときに、前記車両が逆走しているか否かを判定する逆走判定手段と、

該逆走判定手段により、前記車両が逆走していると判定されたときには、警報を発する警報手段と、を有することを特徴とする。

第2の発明は、第1の発明に係る逆走防止装置において、前記進入検出手段により、前記車両の前記サービスエリア又は前記パーキングエリアへの進入が検出されたときに、走行中の路面の路面標示を撮像する撮像手段を更に有し、

前記逆走判定手段は、該撮像手段により撮像された前記路面標示の映像から逆走パターンを認識することにより、前記車両が逆走しているか否かを判定することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

第3の発明は、第2の発明に係る逆走防止装置において、

前記逆走判定手段は、前記路面標示の前記映像から順走パターンを認識して前記車両が順走していることを確認し、

前記撮像手段は、前記車両が順走していると確認されたときに撮像を終了することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

第4の発明は、第2又は第3の発明に係る逆走防止装置において、

前記逆走パターンは、区画線の形状と線幅を特徴点とする画像認識パターンであることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

第5の発明は、第1～4のいずれか一つの発明に係る逆走防止装置において、前記進入検出手段は、ナビゲーション手段を有し、

該ナビゲーション手段が、自車位置が前記サービスエリア内又は前記パーキングエリア内にあるか否かを検出することにより、前記サービスエリア又は前記パーキングエリアへの進入を検出することを特徴とする。